

No. 2997

2021-2022年度

会 長 松村 秀一  
幹 事 川口健太郎  
R広報委員長 児嶋 正人



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
例会場 紀州有田商工会議所6F  
事務所 〒649-0304  
有田市箕島33-1  
紀州有田商工会議所2F  
有田ロータリークラブ  
Tel (0737) 82-3128  
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日  
ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
e-mail office@aridarc.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

2021-2022年度クラブ方針

クラブで親睦を深め一人一人がそして  
クラブが地域を明るくする



本日のプログラム

令和4年3月10日 第2998回

- ・ 会員卓話：北畑 貴行 君  
「技術進化する社会へ」
- ・ ソング：「それでこそロータリー」

次回のお知らせ

令和4年3月17日 第2999回

- ・ 外部卓話：田中恵子氏 (中紀バス(株)有田旅行センター所長)  
「中紀バスヒストリー そして、やっぱり私はバスが好き」
- ・ ソング：「四つのテスト」

前回の報告 (第2997回例会)

開催日 令和4年3月3日(木)

点 鐘 [松村君]

今月の誕生・結婚祝 [丸山親睦活動委員長]

会員誕生：上野山捷身君 (3/1)、木本隆昭君 (3/12)、  
石垣泰伸君 (3/16)、北畑貴行君 (3/18)  
配偶者誕生：菅原知子さん (3/4)  
結婚記念：成川守彦君 (3/31)



3月お誕生日  
木本 隆昭 君  
おめでとうございます！！



ニコニコ箱の報告 [脇村SAA]

松村君：應地先生、卓話よろしくお願いします。楽しみです。  
川口君：本日の会員卓話、應地先生、宜しくお願い致します。  
岩橋君：應地先生、卓話楽しみにしています。  
應地君：久しぶりの卓話です。  
上野山(栄)君：應地先生、本日楽しみです。  
中元君：應地先生、本日の卓話よろしくお願いします。  
橋爪(誠)君：應地先生、久しぶりの卓話登場待ちました。はりきってどうぞ！！楽しみです！！  
井上君：應地先生、本日の卓話楽しみです。  
木本君：應地先生、本日の卓話宜しくお願い致します。

丸山君：應地先生、卓話楽しみです。よろしくお願いします。

嶋田君：應地正章さん、卓話楽しみです。よろしくお願いします。

辻君：應地先生、本日の卓話楽しみにしています。

脇村君：應地さん、本日の卓話よろしくお願いします。

出席報告 [木本例会運営委員長]

本日の会員数27名  
(出席規定免除会員8名)  
出席会員数22名  
(出席規定免除会員7名)

会長の時間 [松村会長]

「危機管理」

應地先生と私の共通点が一つあります。学生の時ヨット競技をしていたことです。先生は和歌山医科大学、私は和歌山大学のヨット部でした。主に和歌浦湾の海の上で活動していました。

私は卒業後もウインドサーフィンやクルーザー、ジェットスキー、モーターボート、ゴムボートなどに乗る機会を積極的につくっていました。それは海の上の乗り物に乗っていると心地よいからです。

船乗りは「板子一枚下は地獄」とよく言うそうです。海の上ではいつ何時、命に係わる危険に遭遇するか分からないことの戒めです。

ヨットはもし転覆しても水に沈まない構造になっているし、さほど沖に出ていくわけでもありません。乗員は常にライフジャケットを着用していますので、さほど危険だと感じていませんでした。しかしながら、高校・大学のヨットの部活動で10年に一度ぐらいは死亡事故が起きています。



海にいるときは、もしこうなったら、あんなことが起きたら、と常に最悪の状況を考えます。先を予測していないと命にかかわらなくても面倒なことになってしまいます。シュートレースにも勝てません。海上ではトラブルは基本的に自分で解決しなければなりません。海の上で長く過すと様々な危険を予測する経験を積みます。ヒヤリハットすることもあります。これらの経験の積み重ねが危険予知能力を高めます。海の上で経験を積むということはある意味、危険予知能力を高めることです。

経験を積む以外に、書物を読むことで疑似体験ができます。トラブル対策も同時に知ることが出来ます。読書によって短時間で膨大な経験と知識、知恵を得ることが出来ます。

山も同様に危険が潜んでいるのではないのでしょうか。そして不便です、コンビニはないし携帯の電波がとどかないところもあるでしょう。

私の登山経験は小学生の時に奈良県の大峰山の近くの山に、中学で金剛山に登ったことだけです。小学生の時の登山はとて印象に残っています、旅館が用意してくれたおにぎり3つとたくわん2切れの昼ご飯をもって山に登りました。その弁当がとんでもなくおいしいことに感激したことをよく覚えています。実はその時生まれて初めてたくわんを食べました。

登山は大自然のなかで、何ものにも代えがたい場面に遭遇するのでしょう。いろいろな醍醐味があるのでしょう。

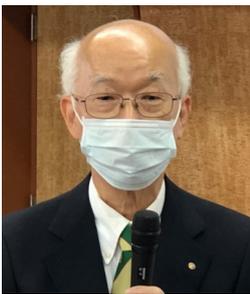
應地先生のお話し楽しみです。

### 幹事報告 [川口幹事]

本日の幹事報告4件ございます。

- ・本日例会終了後、第9回定例理事会を開催致します。
- ・次年度地区出向依頼受けた方は報告願います。
- ・ロータリーの友誌価格改定致します。
- ・ロータリーの友誌は事前送配布致します。

### 卓話



会員  
應地 正章 君

#### 「にわか登山家」

61歳になり、今までとは真逆の趣味の世界に没入することになりました。それは山登りです。これまでは車三昧の生活で歩くのが大嫌いで階段を登るなんてまっぴらごめんでした。それが2014年7月21日千畳敷カールに行った時に変りました。「ここからは経験のある人が十分な装備をしていくところ、それ以外の人は危険です」と案内板の出ている道を私より高齢(たぶん?)の女性が話をしながら楽しそうに登って行ったのを見たときです。「今からでもまだ行けそう」と思ったのが間違い(?)でした。

そして、その前後に山登りを始めた友人が2人いて、

彼らと一緒に楽しく登っています。さらに偶然なのですが、ロータリーでも山登りをしたいまたはしている方を発見し、山登りの機会が増えました。

いろんな山登りを楽しんでます。夫婦2組で軽い登山をし、登山の前後の楽しみを主としたり、男二人で厳しい山へ行ったり、グループで、単独行で、単独行ははじめは勇気がいりますが慣れれば特に問題はありません。

夏山は比較的安全で、新緑や紅葉の頃は格別です。でも雪山はさらにきれいです。山登りをしない方からは、危ない、寒いどうしてそんなところへ行くの?と言われますが、雪山は汚いもの見たくないものが雪の下に隠れて真っ白で静寂が支配して異次元の世界です。スキー場の雪の世界との一番の違いは、静寂の支配と人工物がないことです。

また遠くへ行かなくても楽しい山はたくさんあります。これから桜の季節です。和歌浦の章魚頭姿山(高津子山)、名草山、少し遠いですが岩出の最初が峰(百合山)は簡単に登れて桜を堪能できます。

8年間山登りを続けることができたのは、良き友に恵まれたことと山頂を踏んだ達成感です。今年で70歳になりますが、もう少し続けたいと思います。



### 閉会・点鐘

[松村会長]